

赤色防虫ネットの 防除効果確認試験

JA北いしかり

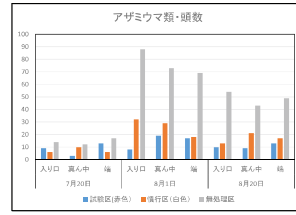
北島 進



設置状況

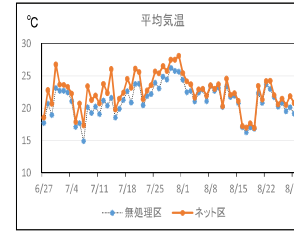


粘着テープ設置状況

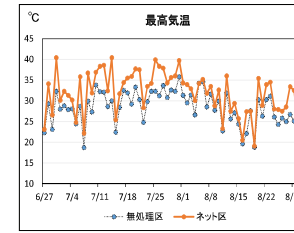


アザミウマの調査頭数

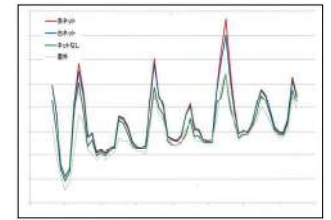
試験目的	カーネーションにおける赤色防虫ネットによる微小害虫の防除試験	
試験作物及び品種	花き(カーネーション)	
試験資材及び数量(規格)	サンサンネット(e-RED) 0.8mm目合い 1.5m×100m×1本	
慣行資材	白色ネット 0.8mm目合い	
栽培方法	<p>定植日</p> <p>5月8日</p>	<p>【栽植密度】</p> <p>24,500株/10a (4条植え 株間18cm)</p>
資材使用期間	5月2日～収穫終了まで	<p>試験区面積</p> <p>275㎡</p>



ハウス内温度(平均気温)



ハウス内温度(最高気温)



各区のハウス内温度変化

試験結果

- (1) 作業性について(慣行品との比較)**
慣行区と差はなかった。
- (2) 作物の生育状況または、収穫への影響**
慣行区と差はなかった。
- (3) 栽培管理上の優位点あるいは問題点について**

【優位点】: 粘着トラップを用いてアザミウマ類の捕殺数を調査した結果、試験区(サンサンネット) > 慣行区(白色ネット) >> 無処理区(ネット無し)であり、虫の飛び込みを大きく抑えられた。無処理区と比較して1~2回農業による防除回数を減らすことができると想定され、コストメリットも十分である。

【問題点】: 慣行品と比較して若干価格が高い点。防虫ネットに共通して言えるが、無処理区(ネットなし)と比較するとハウス内温度が上昇する点。調査期間中に危険温度の40℃を超える日が4日あった。
- (4) 資材の強度・耐久性・崩壊性について**
資材の強度について単年度の試験では問題なかった。ただし、複数年使用した際の色褪せを含めた耐久年数については追跡調査が必要。
- (5) 雑草・病害虫の発生について**
試験区(サンサンネット) > 慣行区(白色ネット区) >> 無処理区(ネット無し)の順で、アザミウマ類の飛び込みを抑制することができた。

モニター感想

アザミウマ類の飛び込み抑制効果については満足でき、慣行区と比較して農業による防除回数を1~2回減らせることができると考えられ、有用性はある。防虫ネット設置によるハウス内温度の上昇が懸念されたが、作物への生育および作業性に影響を与えるレベルではなかったことから、高温時には遮光ネットを使用するなどの対応で十分活用できる。

JA担当者の感想(購買部 中山次長)

管内では、小麦収穫後に花きハウスへアザミウマ類が飛来し、花きの品質を大きく低下させる原因となるが、サンサンネットe-REDの施用により虫の飛び込みを抑えるのであれば非常に有用であると考えられる。薬剤使用回数の減少につながるればコスト低減および作業の軽減につながるため今後推進していきたいと思う。

今後の使用について

継続して使用したい。

将来希望する資材について

ハウスとハウスの間に設置する害虫忌避シート。

1 栽培システム
2 栽培システム
3 製地システム
4 マルチ
5 不織布
6 育苗資材
7 防虫ネット
8 防虫資材
9 ICT機器
10 その他